

//// //// 洲本市議会だより //// ////

みんなのぎかい

2024.4.15 Vol.71

特集

令和6年度

一般会計当初予算

公募写真 第16号

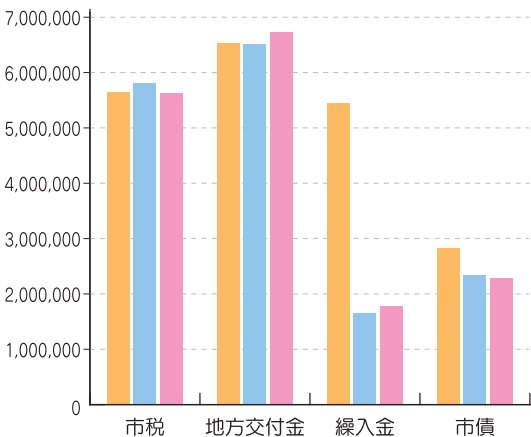
写真タイトル: 桃色の吐息 撮影者: 溝尾 京華さん 撮影場所: 洲本市宇原



令和6年度 一般会計当初予算

当初予算（歳入）の比較

(単位：千円)



■ R4	5,645,000	6,524,000	5,446,957	2,820,450
■ R5	5,803,000	6,520,000	1,655,600	2,333,267
■ R6	5,620,000	6,730,000	1,778,700	2,285,968

主な新規事業

子どもたちへの未来投資

- ◎こども家庭センター …… 837万1,000円
- ◎小児科医等開業・運営支援事業 1,001万円
- ◎児童館改修事業(児童クラブ加茂) 900万円
- ◎すもと学びの多様化プロジェクト事業 …… 737万7,000円
- ◎部活動地域移行・連携事業 …… 50万円
- ◎コミュニティスクール運営助成 …… 15万円
- ◎給食センター整備 …… 4,300万円
- ◎田舎暮らし推進事業(オープンファクトリー) …… 295万円

予算審査Q&A

職員研修

Q コンプライアンスとそれに関連する職員研修について、1人1回だけか。内容はどのようなものか。会計年度任用職員も対象なのか。

A〔財務部〕1人1回で、管理職に対して行ったものと同じような内容だと考えている。現在、正規職員のみと考えているが、必要に応じて検討する。

公益通報制度

Q 外部に公益通報窓口を設置することだが内容は。また、通報できる職員は。

A〔総務部〕現在の総務課窓口も残す形で、弁護士事務所などと委託契約をし、外部に窓口を設けたい。通報後、市へフィードバックされるときは、通報者のプライバシーが確保されるような形を検討していく。通報者は、職員・第3セクター・委託業者などが考えられるが、今後詰めていく予定である。

ふるさと洲本もっともっと応援寄附金事務事業

Q 温泉利用券の利用見込みと利用促進のためのPRは。

A〔企画情報部〕3億4,471万円のうち、温泉利用券としては、3億2,300万円を予算計上。市のホームページと洲本温泉観光旅館連盟の加盟団体に、温泉利用券が使えることを改めてPRしていただくようお願いしている。

主な新規事業

活力とにぎわいへの未来投資

- ◎観光対策(花みどりフェア2025イベント) …… 2,000万円
- ◎観光対策(大阪・関西万博会場出展費) …… 264万円
- ◎淡路文化史料館活性化事業 …… 122万8,000円
- ◎DX推進事業(観光アプリ) …… 583万円
- ◎洲本公設市場跡地管理 …… 320万円
- ◎企業立地対策事業(適地調査) …… 300万円
- ◎就農促進トータルサポート事業 …… 158万円
- ◎高田屋公園管理(地域力創造アドバイザー) …… 560万円

241億3,500万円を可決



▲道の駅整備が待たれる高田屋嘉兵衛公園

パートナーシップ宣誓制度

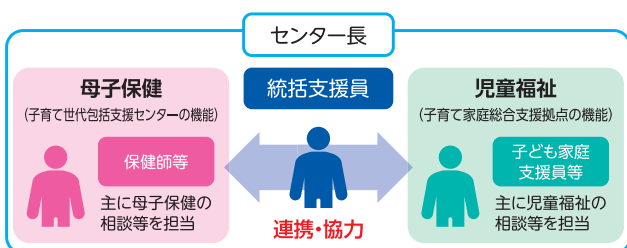
Q LGBT理解増進法に基づき、本市も制度を導入することのことだが、届出の受付は。

A〔**窓口**部〕住民票、戸籍謄本などを添えて届出いただき、要件の確認を行い、後日、宣誓届出済証を交付する。届出については、基本窓口での対応であるが、必要に応じて、個別の部屋で対応するなど配慮する。

こども家庭センター

Q こども家庭センターでは具体的にどのような取り組みを行うのか。

A〔**福祉**部〕母子健康包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を合わせ、妊産婦から子育て家庭、小・中学生の児童生徒を対象に切れ目のないよう総合的に相談や支援を行う。本庁舎2階にセンター長、統括支援員を置き、対応する。



予算審査特別委員会 要望事項

- 各種事業について、形にして、スピード感をもって実施されたい。
- 重点「道の駅」の整備について、次に掲げる事項をもって実施されたい。
 - 整備に際して、地元住民の理解、協力が必要であるが、早急に、その概要を公開されたい。
 - 播磨灘に面し、夕日の眺望が美しいという立地特性を踏まえ、豊かな自然など地域の魅力を発信し、また、既存の宿泊施設及び体験施設を有効に活用し、春夏秋冬、一年中、子育て家族などから何度も訪問したくなるような施設を整備されたい。加えて、動物愛好家からも気軽に訪問することができるような施設も併設されたい。
 - 近年、自然災害が多発していることから防災拠点としての機能を意識し、施設を整備されたい。
 - 淡路島は、全国からサイクリストが訪問される場所であるので、愛好家にとって、休憩、修理、救援などの受入対応が可能な利便性のある施設を整備されたい。
 - 幹線道路からのアクセスなど交通ルートを設定するとともに、大型バスにとっても利用しやすい駐車場の配置も検討されたい。
 - 整備事業を円滑に遂行するため、また、全体を俯瞰できるように市職員から選抜した、プロジェクトチームを編成し、臨まれたい。
 - 高田屋嘉兵衛翁をはじめ、多くの偉人を顕彰できるように、既存施設を有効活用されたい。
 - 農産物など地元商品を豊富に揃え、観光客のみならず、地元住民にも愛され、気軽に立ち寄りもらえるような販売施設を整備されたい。
- ふるさと納税問題に関し、第三者調査委員会からの最終報告書において、指摘のあった、コンプライアンス研修については、特別職をはじめ全職員を対象に、年度当初より継続的に実施し、あわせて、意識調査などを実施することで、コンプライアンス意識の醸成を図られたい。

主な新規事業

安全・安心への未来投資

- ◎漁港改修事業（炬口フィッシャリーナ）
…………… 750万円
- ◎非常備消防（機能別消防団員） …… 41万円
- ◎消防団充実強化事業（免許証限定解除補助金）
…………… 45万円
- ◎南海地震等防災対策（PHEV車購入等）
…………… 1,000万円
- ◎任意予防接種（带状疱疹ワクチン）
…………… 79万1,000円
- ◎防犯対策事業（自動録音電話機等購入補助）
…………… 100万円
- ◎パートナーシップ宣言制度事業
…………… 2万9,000円

すもと学びの多様化プロジェクト

◎ 不登校の児童生徒は、他の児童生徒と接するようなどころを通るのは難しいと思うが、校内サポートルームの設置場所は。

◎ 〔農会〕 空き教室など、それぞれの学校で使っていないスペースがあるので、一番適したところを活用する。対人関係に不安の大きい児童生徒もいるので、プライバシーに配慮する環境整備が必要だと考えている。

うしぢから誘発推進事業

◎ 乳用牛と肥育牛に対して、一時金を支給することのだが、詳しい内容は。

◎ 〔農産部〕 飼料高騰により負担が増加している酪農家と肥育農家に対し、乳用牛で1頭当たり1万円、肥育牛で1頭当たり3,000円を支給する。対象は、乳用牛で37戸、約1,260頭、肥育牛で8戸、約1,800頭となっている。



DX事業推進

◎ 開発中の観光アプリについて、スケジュールと内容は。

◎ 〔農産部〕 3月末で基本的な部分については完成する。6年度は、観光情報や、飲食店組合を通じて店舗情報を入力していただき、観光客を対象に新メニューやキャンペーンなどを周知していきたい。また、地域ポイントアプリと観光アプリを連動させることも想定している。

道路新設改良（単独）

◎ 角川中央線の現状と今後の予定は。また、令和6年度の玉田線の整備は。

◎ 〔整備部〕 角川中央線は、5年度発注した県道から約110mの工事はほぼ終了し、6年度予算は、その先の約120m分である。それ以降はまだ用地買収が終わっていないため、今後、地域と調整していく。

玉田線は、大昭和精機第2工場前の拡幅部分で、令和元年度に暫定形ということで、拡幅は終わっており、6年度で舗装の仕上げを行う。



▲角川中央線

主な新規事業

行財政改革と新たな行政経営の展開

- ◎業務適正化事業（内部公益通報業務）
…………… 150万円
- ◎業務適正化事業（職員研修） …… 120万円
- ◎脱炭素社会の実現に向けた取り組み
- ◎地球温暖化対策実行計画策定
…………… 640万5,000円

物価高騰対策

- ◎うしぢから誘発推進事業
（乳用牛・肥育牛飼料高騰対策） …… 1,800万円
- ◎プレミアム付商品券事業 …… 6,800万円

議案審査Q & A

すもとシティプロモーション推進事業

Q 4,000万円と大きく減額となっている理由は。

A〔総務部〕当初は東京や大阪での大きなイベントに参加するという事で予算が組まれていたが、具体的に参加する機会が減少したことから、最終的に減額となった。

消防団条例の一部改正

Q 水火災や地震などの現場に出動した場合、従事時間が8時間以上は8,000円、8時間未満は4,000円の出動報酬が支給されることになったが、従事時間の考え方は。

A〔総務部〕火災の場合、広域消防から連絡が入った時点が起点となり、すべての作業が終わり、最終的に分団長から終了の連絡があった時点までを想定している。



公共交通支援事業

Q 生活バス路線運行補助金が約432万円減額となっているが、具体的な理由は。



A〔総務部〕利用促進効果が一定見えてきたところで、利用者が増え、結果的に市が負担している赤字額の増加分に関しての補填が若干縮小したことから、当初予定していた5路線において、減額となった。

介護保険条例の一部改正

Q 高齢者が増えている中、令和6年度から8年度の第9期介護保険料基準額において、現行の月額5,950円、年額7万1,400円として据え置くことができた要因は。

A〔健康福祉部〕まず、本市は、特に介護予防事業に力を入れており、その効果が現れて費用が抑えられていると前向きに解釈したい。それに加え、介護保険給付費準備基金を取り崩すことで基準額を据え置くことができた。



すもと学びの多様化プロジェクト

Q 令和5年度予算の校内支援センター設置に係る備品購入費237万6,000円を全額6年度に繰り越すとのことだが、備品などの購入はいつ頃を考えているのか。また、どのような備品を購入するのか。

A〔総務部〕この事業については、5月からスタートと考えているので、4月中に備品を購入し、教室の整備を行いたい。

購入備品については、児童生徒が一人ひとり自習ができるスペースを作るために、机やパーテーションを整え、プライバシーの確保に努めたり、その場所に来られない児童生徒と、リモートで学習をするためのタブレット端末の整備を考えている。

新規就農総合支援事業

Q 補助金が大きく減額補正されている理由は。

A〔議部〕 新規就農に対する相談件数は例年通りであったが、5年度においては、認定新規就農者への補助金に新規で該当する方がいなかったため。

空家等及び法定外空家等の対策の推進に関する条例

Q 条例制定によりできるようになることは。

A〔整部〕 法定外空家の情報提供を求めたり、助言、指導、勧告ができるようになる。これにより、抑止力が働いて空き家の解消につながればと考えている。現在、長屋の一部に入居があれば、空家等対策の推進に関する特別措置法上では空き家とみなされないが、この条例で、そういった法定外空家に対しても適切な管理を促していく。



討 論

● 議案3号

反対 間森 和生（日本共産党）

用途不明の温泉券やおせちの送付先など解明を。「道の駅」は基本設計を示すべきだ。プレミアム付き商品券は、スマホを持たない市民が利用できない。利用できるよう紙の商品券も準備すべきだった。

反対 生田 進三（無会派）

発信拠点施設費（東京・大阪のアンテナショップ）に5,870万円を充当するよりも、その予算で中学3年生までの子育て世代に少しの金額でも支給する事業を検討するべきである。

反対 濱野 隆（うずしお）

企画課担当者の説明と矛盾する市単独事業非効率性の際たる事例の東京・大阪アンテナショップ「発信拠点施設費」5,870万円を含めた議案第3号は到底承服できない。反対だ。

反対 久保 哲二（うずしお）

兵庫県ですらアンテナショップの撤退をしている。県下で洲本市だけが東京アンテナショップを開いている。次年度も厳しい財政状況であり、継続は市民に納得していただけない。

反対 木元 寿夫（うずしお）

道の駅が高田屋公園内に計画され5年。国にアドバイザーを依頼し、助言をいただく。GOGOドーム解体はその後でよい。アンテナショップの家賃負担を市は認識しているので必要ない。

賛成 木戸隆一郎（「志」）

新たな取り組みや、拡充するものも多い。ふるさと納税問題に関連し、コンプライアンス研修の実施、ガバナンスの構築を早期に行うためには予算の可決が必要。反対はその流れを止めるもの。

賛成 福本 巧（宙）

経常経費の適正な見直しや民間活力の活用により、予算の無駄や不必要な支出が抑えられており、新たな取り組みを通して、地域の活性化や経済発展を促進する予算編成であるので賛成する。

賛成 中野 睦子（「志」）

6年度は本市の再生の年。新規・拡充など市民生活に大切な事業を行うため予算は通すべきである。市議会として多くの要望を付した。賛成し、市政をしっかりと見ていく。

● 議案4・9・10・49号

反対 近藤 昭文（日本共産党）

国保や介護、後期高齢者医療費の保険料は、市民に負担増を求めるのではなく、国に対して国庫負担の引き上げや社会保障制度の改善を強く要望していただきたい。

3月定例市議会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案

※議長(笹田 守)は表決には加わらない。しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。○は賛成、×は反対、欠は欠席、一は除斥。

件名	議員名	議決結果	近藤 昭文	間森 和生	濱野 隆	久保 哲二	福島 昌幸	中野 睦子	清水 茂	柳川 真一	先田 正一	原田ひとみ	木元 寿夫	小野 章二	小松 茂	木戸隆一郎	福本 巧	生田 進三	高島久美子	
議案第3号	令和6年度 一般会計予算	原案可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第4号	国民健康保険特別会計予算	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	介護保険特別会計予算	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	介護保険条例の一部を改正する条例制定	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議案第1号	濱野 隆議員に対する議員辞職勧告決議	原案可決	○	○	一	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○

※議長(福本 巧)は表決には加わらない。しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。○は賛成、×は反対、欠は欠席、一は除斥。

件名	議員名	議決結果	近藤 昭文	間森 和生	濱野 隆	久保 哲二	高島久美子	中野 睦子	清水 茂	柳川 真一	先田 正一	原田ひとみ	木元 寿夫	小野 章二	小松 茂	木戸隆一郎	笹田 守	生田 進三	福島 昌幸	
議案第50号	監査委員任命	原案同意	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第4号	榑波路島第一次産業振興公社の事務処理等の調査に関する決議	原案可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○

全員賛成の議案等

報告第1号	件名	件名		
報告第1号	和解	議案第27号	空家等及び法定外空家等の対策の推進に関する条例制定	
議案第5号	令和6年度	由良財産区特別会計予算	議案第28号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更
議案第6号		納、鮎屋財産区特別会計予算	議案第29号	淡路市と洲本市との間の五色台聖苑火葬場における火葬事務の委託の変更
議案第7号		堺財産区特別会計予算	議案第30号	公の施設に係る指定管理者の指定
議案第8号		C A T V事業特別会計予算	議案第31号	児童福祉法及び子ども・子育て支援法の規定により条例に委任された基準等を定める条例制定
議案第11号		介護サービス事業会計予算	議案第32号	公民館使用条例の一部を改正する条例制定
議案第12号		駐車場事業会計予算	議案第33号	奨励措置の適用に係る事業所の指定
議案第13号		下水道事業会計予算	議案第34号	健康福祉館大規模改修工事請負変更契約締結
議案第14号		土地取得造成事業会計予算	議案第35号	市道路線の認定
議案第15号	上灘地域集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第36号	市道路線の廃止	
議案第16号	市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第37号	過疎地域持続的発展計画の変更	
議案第17号	医師職の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第38号	教育長任命	
議案第18号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	議案第39号	教育委員会委員任命	
議案第19号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第40号	固定資産評価審査委員会委員選任	
議案第20号	消防団条例の一部を改正する条例制定	議案第41号	令和5年度	一般会計補正予算
議案第21号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定	議案第42号		国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第22号	総合福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第43号		C A T V事業特別会計補正予算(第2号)
議案第23号	生きがい活動支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第44号		介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第24号	国民健康保険診療所の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第45号		後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第25号	漁港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第46号		介護サービス事業会計補正予算(第3号)
議案第26号	市営住宅の設置及び管理に関する条例及び市営特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第47号		駐車場事業会計補正予算(第2号)
		議案第48号		下水道事業会計補正予算(第3号)
		議案第51号	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員選任	
		議員提出議案第1号	元市職員の不適切な事務処理等の調査に関する決議	
		議員提出議案第2号	議長の辞職	
		議員提出議案第3号	副議長の辞職	

2月臨時市議会 議決結果一覧

全員賛成の議案

件名	件名
議案第1号	令和5年度 一般会計補正予算(第10号)
議案第2号	(仮称)宇原千草線2号橋樑梁(上部工)工事請負契約締結

※表記は、正式な名称ではありません。

*代表質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



市民ニーズを把握した 必要な施策の実施を要望



動画QRコード

代表質問

ふくもと たくみ おおぞら
福本 巧 (宙)

施政方針

Q 新たな飛行経路の計画において、地域住民と空港関係者の意思疎通を円滑に図る上で、本市の果たす役割と、地域の安心および安全の確保を図る体制構築に向けた取り組みは。

A 〔市長〕新飛行経路の運用において問題が生じた際は、地域住民と空港関係者をつなぐ役割を本市が担い、速やかに空港関係者と情報を共有し、定期的な報告を

求める。また、監視結果などについても積極的に情報公開し、課題解決に努めることを求めるとともに、飛行経路に係る安全対策の一層の強化を島内3市長から要望した。

Q 市職員のコンプライアンスを醸成するための効果的な研修体制確立への取り組みと、ふるさと納税制度の復帰に向けた本市の見解は。

A 〔市長〕研修は専門的知見を持つ外部講師による講義と演習を行う形態とし、受講を業務の一環とすることで、受講者を管理し、受講後の意識調査によりその理解度などの効果検証を行う。また、

ふるさと納税制度については、債務残高などの状況から令和6年度の復帰は困難と考える。

教育行政方針

Q GIGAスクール構想において、学校教育を支える基盤的なツールとなった1人1台の学習端末の更新計画は。

A 〔教育長〕令和7年度より中学校の学習端末更新を始め、3年間で小・中学校、すべての学習端末更新を計画している。

その他、11事業について質問しました。



道の駅の早期整備で、 新たな観光拠点化と子育て応援を！



動画QRコード

代表質問

きど りゅういちろう こころざし
木戸 隆一郎 (「志」)

Q 放課後の居場所づくりについて、新規開設支援や学校内での開設は。

A 〔市長〕ニーズが高まっており、施設整備や利便性向上が求められる。学校内の空き教室や同一敷地内での実施に向け、引き続き協議していく。また、支援員の確保、質の向上にも努めていく。

Q 道の駅開設に向けた進捗状況は。また、子育て拠点の検討状況は。

A 〔市長〕基本計画の策定業務を進めており、高田屋嘉兵衛公園と新たに整備する道の駅の融合策、道の駅舎について検討している。令和6年度で駅舎の基本設計、7年度に実施設計を完了し、社会情勢を勘案しながら、建設工事の整備を進めていく。ベビーコーナーの整備や新たな遊具の設置などにより、さらに居心地の良い公園となるよう検討していく。

Q ヤマトサウルス・イザナギのPR活動の充実、観光拠点化は。

A 〔教育長〕令和6年度はオリジナル・ミニチュア模型を限定製作し、これに彩色する講座を実施する。また、マスコットキャラクター「ナギィ」のぬいぐるみを製作・販売し、PRに活用していく。さらに魅力的な展示や企画により観光発信にも寄与していく。

その他、待機児童対策、中心市街地の活性化、空き家対策、第一次産業への支援、消防・防災、学校教育の充実、部活動の地域移行などについて質問しました。



動画QRコード

内部通報制度が機能していなかった

代表質問

きもととしお 木元寿夫（うずしお）

介護保険

Q 今回の制度改正の主な点は。

A 〔市長〕①地域包括ケアシステムの深化・推進、②自立支援・重度化防止に向けた対応、③良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり、④制度の安定性・持続可能性の確保の4点。

ふるさと納税

Q 温泉利用券の偽券対応は。

A 〔市長〕まず、旅館・ホテル側がチェックイン時に確認。

Q 洲本市民のふるさと納税による住民税の流出は。

A 〔市長〕平成30年は約4,770万円、令和4年は約9,276万円であり、5年間で倍増。ただし、減収額の75%が地方交付税で補填される仕組みとなっている。

Q 住民説明会で元課長を告発・告訴すべきとの声に対しては。

A 〔市長〕不適切な事務処理は認識している。事実をしっかりと確認していきながら、どう



いう対応がふさわしいか検討し、厳正に対処する。

Q 住民説明会のアンケート結果の公表は。

A 〔市長〕質問では、元課長に係る非違行為やお節料理の配布先など、住民説明会とほぼ同様の内容であった。意見は、誹謗中傷ととれるようなものや過激なものなどが多く、公表を見合わせている。

ほか、内部通報制度を質問しました。



動画QRコード

物価高騰対策の効果的な支援を要望！

代表質問

さき たしょういち 先田正一（公明党）

Q ふるさと納税問題の責任の所在、取り方は。

A 〔市長〕本市における不祥事の責任は全て最高責任者である市長の私にある。信頼回復のため、組織改善や体制の整備に取り組み、制度復帰に邁進し、遂行責任を果たす。

Q 中心市街地活性化の取り組みは。

A 〔市長〕花みどりフェア、AWA川島博の開催を踏まえ、大阪・関西万博の機運を高めるイベントを実施する。令和6年度は、大浜公園を会場とした催し

を行いたい。また、赤レンガ造りのA BRICKやS BRICKに関しても、引き続き市民交流の場として活用していく。

Q 带状疱疹ワクチン接種の助成は。

A 〔市長〕带状疱疹ワクチン接種は、令和6年度に限り実施。50歳以上の方に対し、1回のみ4,000円を助成する。

Q 物価高騰に対する今後の支援・対策は。

A 〔市長〕障がい者施設や高齢者福祉施設、小・中学校などの食材費に対する補助などを実施。



また、飼料高騰対策として、乳用牛および肥育牛を対象に一時支援金を支給。1人当たり1万円を上限にプレミアム率20%のデジタル商品券を発行する。

その他、施政方針では、五色認定こども園、こども医療費など、教育行政方針では、不登校支援、給食費の無償化、部活動の地域連携・地域移行などについて質問しました。

*代表質問・一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



温泉利用券やお節料理配布先の 解明を



動画QRコード

代表質問

こん どう あき ふみ
近 藤 昭 文 (日本共産党)

ふるさと納税問題

Q 第三者委員会が指摘した公文書の偽造や商品券を使ったの物品購入が、100条委員会での証人尋問で、元課長に権限が集中していた事実が明らかになりつつある。温泉利用券やお節料理の配布先も解明できていない。不適切な事務処理について、より真実を解明するため市の最高責任者として元課長を刑事告訴すべきではないか。市民に対して、本

市としてきっぱりとした態度、決意を示すべきではないかと考える。

A 〔市長〕事実をしっかりと確認していきながら、どういう対応がふさわしいか検討し、厳正に対応していく。

施政方針

Q 新飛行経路の増設案について、淡路島上空ルートを2本から7本に、陸上通過高度を引き下げる、関空や神戸空港の着発回数を増やすなど航空機騒音が懸念される。広く説明会を開催し、市民の合意なしでは

認めないことを明言してほしい。

A 〔市長〕環境基準を遵守した上で、安心して暮らせる環境が大切である。これまでに収集、提案された住民の意見、要望も合った上で意見書として国に提案し、現在、その対応を待っている。

Q 公共施設の統廃合は、利用者や関係住民の意見を尊重して、結論ありきではなく、対話の機会を設定して意見や考えを聞いて対応をしてほしい。

A 〔市長〕個別管理計画を基本としつつ、関係住民の皆さまの意見を伺いながら進める。



自助・共助・公助で災害に強い街づくりを！



動画QRコード

はら だ
原 田 ひとみ (公明党)

Q 大規模災害などの防災対策について、避難所に必要な簡易ベッド、簡易トイレなどの備蓄及び支援体制は。

A 58カ所の指定避難所に対応するため、毎年、備蓄しているが、不足が生じた場合を想定し、関係機関や民間企業と応援協定を結んでいる。また、支援物資の輸送に関しては、空路・海路での輸送手段も考えている。(総務部長)

Q 市民へ災害時協力井戸を募集しては。

A 6カ所の小学校にある井戸を避難所の生活用水として利用を見込んでいる。導入については、先進地事例を参考にしながら検討する。(総務部長)

Q 不登校児童生徒の教育水準の維持向上について、本市の取り組みは。

A 市で契約している学習アプリで、自分の進路に応じたドリル学習ができる。また、校内サポートルーム設置、オンライン教室の新設など不登校児童生徒の居場所づくりに取り組み、学びの機会の確保に努める。(教育長)

Q 地域の猫との共生のために、条例を制定しては。

A 市内の獣医師や動物愛護センターから助言を得ながら、地域猫について周知・啓発に努め、必要に応じ、人と猫の共生に向けた協議会の設置も検討する。現時点で、条例制定の考えはないが、他自治体の事例を参考に研究する。(市民生活部長)

11 住み続けられるまちづくりを





動画QRコード

みんなで考えよう！これからのこと

なかのちかこ (志) 中野睦子



小・中学校の今後の在り方

Q 今のままで近い将来どうなるか、学校再編のポイントは。

A 令和5年度の小・中学生数は平成18年度の7割弱、11年度では5割弱まで減少。8年度には安乎・鳥飼、9年度に中川原、10年度に堺、11年度には広石小が複式学級になる。洲本第三・大野小は1年生が1学級のみとなる。複式学級の解消、複数学級の実現、長期的な学校施設の確保が再編のポイントとなる。(教育長)

子どもの居場所づくり

Q 本市の取り組みは。

A 新年度、3小学校と5中学校に校内サポートルームを設置し、オンライン教室も開設。一人ひとりの状況に合わせた支援を行っていく。また、本市と協定を結ぶ「みらいえ」などの第三の居場所と、情報交換や連携をしていきたい。(教育長)

市長の目指すまちづくり

Q 市長の思いは。

A これまでの2年間はふるさと納税問題の解決に費やした日々であったが、これからは対話を通じて市民の皆さまに寄り添い、持続可能なまちづくりを進め、誰もがいきいきと暮らせる「ずっと住みたい洲本」を実現していきたい。(市長)



動画QRコード

産前・産後ヘルパー派遣事業の導入を要望

こまつしげる あおぞら 小松茂 (宙)



Q 地域再生計画を策定した経緯と役割は。

A 新洲本市総合計画・後期基本計画と第3期洲本市総合戦略に合わせて、地域再生計画として、第2期洲本市まち・ひと・しごと創生推進計画が内閣総理大臣から認定された。この地域再生計画に記載の事業に対し、企業版ふるさと納税を財源として活用することが可能になる。(企画情報部長)

Q 人口減少を緩和するため、出生者数の増加を目指す上で、令和6年度において従来以上に力を入れる子育て支援策は。

A 「こどもまんなか社会」の実現に向け、「こども家庭センター」を設置し、結婚、妊娠、出産、子育てそれぞれに対応すべく総合的な子育て施策に取り組む。(健康福祉部長)

Q 今後の洲本城整備計画は。

A 「石垣カルテ」を作成するなど、整備基本計画を指針とし整備事業を進めていく。令和8年に築城500年を迎えることから史跡のPR事業も検討する。(教育長)

Q 設備などの老朽化が進むドルフィンプール今後の

方向性は。

A 利用者に支障のないよう、照明器具の修繕などに努める。一部の小学校の水泳授業で試験的に利用するなど、今後の活用方法を調査し、長寿命化に向けた検討を進める。(教育長)



▲洲本城で新たに発掘された石塁

*一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



給食費の無償化、高校生の通学費補助拡充を

まもりかずお
間森和生（日本共産党）



動画QRコード

給食費の無償化推進

Q 物価高騰の中、これまで給食費高騰分への助成が実施され、保護者負担が抑制されてきた。給食費への助成は検討されているか。

A 令和6年度も食材費の価格上昇分については、保護者の負担増につながらないように配慮する。（教育長）

Q 本市において給食費の無償化をすれば財源はいくら必要か。

A 現時点での試算では、約1億3,000万円の費用が毎年必要になる。（教育長）

公共交通の利用促進

Q 高速バス三ノ宮ー西浦線の陸の港西淡までの延伸をはじめ、市域を越えた路線の延長や、乗り継ぎしやすい運行の検討は。

A 利用見込みの状況も考慮し、引き続き必要性や採算性なども加味し検討する。（企画情報部長）

Q ノンステップバスや路線バスの小型化の導入を求め

る。また、通学する生徒の利便性を高めるため、通学定期への助成拡充は。

A 令和元年度に「バス利用促進助成制度」を創設し、半額程度の運賃で利用可能にし、現在は多くの路線バスを4割程度割り引いた運賃で誰でも利用できる環境を整備した。また、学生に限り、利用促進対象路線の通学定期券購入にも助成している。（企画情報部長）



▲誰もが利用しやすい路線バスに



各所管部署での窓口対応マナーの向上を

やながわまさかず
柳川真一（宙）



動画QRコード

Q 汚水管渠の耐震化はどうなっているのか。

A 重要な幹線の管渠については延長3.9kmあり、そのうちの2.7kmは耐震性の確認ができている。残り1.2kmについては、今後、診断を検討していく。（都市整備部参事）

Q 災害時の水確保のために公共施設などに井戸を設置しては。

A 他市の事例などを調査し検討していく。（総務部長）

Q ふるさと納税違反後のコンプライアンス・ガバナンス

に対する取り組みは。

A 管理職に対し2月6日に研修を実施し、研修後にはアンケートを取っている。また、一般職に対しても6年度中に研修を行う。（財務部特命参事）

Q 本市には窓口対応マニュアルはあるのか。

A マニュアルはないが、新人研修や県の自治研修所のカリキュラムなどの受講により、接客など社会人としてのマナーを習得させている。（総務部長）

Q 行政に対する市民からの信頼回復と、組織改革はどのように行うのか。

A 市民に寄り添いながら、真摯に、親切に対応するところから心がけ、市職員としての意識を高く持って法令を遵守する。地道で着実な意識改革と、実践を通して信頼回復と組織改革に努めていく。（市長）



議会において市当局は真摯な答弁をするべき！



動画QRコード

くぼてつじ (うずしお)
久保哲二



Q 魅力創生課の多額の契約のほとんどが随意契約で行われ、お節料理や玉ねぎスープなどの不適切な支払いが発覚した。本市の入札制度において、随意契約は契約全体の何%を占めているのか。

A 令和4年度において、工事請負および委託業務における随意契約は契約全体の74%となっている。(財務部長)

Q 第三者調査委員会から「会計手続きを正常に戻すべき」との提言があるが、どこが正常でなかったのか。

A 購入や委託などに係る起案書などの作成から支払いに至るまでの一連の会計手続きにおいて、各セクションでのチェックが十分に機能していなかったことが異常であったと考えている。(会計管理者)

Q 100条委員会で、元魅力創生課長が自宅や親しい女性にお肉を送り、公金で支払ったとの証言があったが、確認は。

A 100条委員会での証言は承知していない。お肉を送付した件について、淡路島第一産業振興公社に資料請求しているが、現時点で資料をいただけ

ていないので、元課長が肉代を支払っていることは確認できていない。(企画情報部長)

Q 100条委員会で、元店員たちの代理人弁護士から内容証明書が送られてきたとの証言だが内容は。

A 個人情報に抵触するため答えられない。(総務部長)



▲100条委員会

ふるさと納税問題の徹底解明を要望



動画QRコード

いくたしんぞう (無会派)
生田進三



Q 約12億円相当の温泉利用券に係るシティプロモーションの実態について、100条委員会の証人は、当該シティプロモーションはなかった旨の証言をしているが、本市の見解は。

A あった。(企画情報部長)

Q 最終報告書において記載されている温泉利用券と同様に、特別な処遇を受けていたF事業者の名前は。

A 私の答弁により正当な商取引を阻害する可能性がある点にも注意しなければならないので、お答えすることは差し

控える。(企画情報部長)

Q 事業者名の公表を控えることは、コンプライアンス違反にならないのか。

A 守秘義務など法令から判断されたもの。コンプライアンスの観点から適切である。(財務部特命参事)

Q ブランディングなどの受託事業者に18万円分、イベント受託事業者に8万円分の温泉利用券が渡されているが、各事業者の名前は。また、それらに渡した温泉利用券の受領書は受け取っているか。

A 事業者名をお答えすることは差し控える。受領書は受け取っていない。(企画情報部長)

Q 約3,400万円相当の玉ねぎスープの随意契約締結の前年に、すでに製造業者に発注し、生産を始めていたという事実は、官製談合ではないのか。

A 入札談合等関与行為にあたらないため、談合には該当しない。(財務部長)



*一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



市民の皆さまに寄り添い、伴走する行政の推進を！

おのしょうじ 小野章二 (「志」)



動画QRコード

人材・人手不足

Q 地域経済を支える人材確保と、中小企業で働く従業員確保を目的とした企業支援は、

A 制度として、「洲本市未来の担い手確保奨励金返還支援補助金」「洲本市若手人材確保奨学金応援中小企業支援補助金」「洲本市起業支援事業補助制度」などの支援がある。(産業振興部長)

Q 洲本市職員で不足している職種と解決策は、

A 不足職種は、保育士と建築・土木などの技術職。解

決策として、保育士採用試験の見直しと技術職の職場説明会を実施した。このほか、5年度は採用試験を2回行った。(総務部長)

Q 人材・人手不足対策としての、外国人雇用の実態は、

A 令和5年10月の実態として、淡路島内の就労者数は、1,255人(前年比257人増)、雇用する事業者数は、238カ所(前年比26カ所増)である。(産業振興部長)

小中連携・一貫教育

Q 義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校の種類に規定されたが本市の

考えは、

A 現在、学校再編に係るアンケート調査を実施している。今後、小中一貫教育も含め、慎重に検討する。(教育長)



市に問う！新飛行経路案

ふくしままさゆき 福島昌幸 (「志」)



動画QRコード

Q 能登半島地震を教訓に、災害に対して新たに課題として考えなければならない点は、

A 他の地域からの応援を求める必要性と、受援体制の構築が重要であると再認識した。本市は、島という地理的特徴があり、橋が使用できず、孤立する可能性がある。これまで以上に市民の自助と共助の意識を高めるよう防災活動の周知・啓発を行う。(総務部長)

Q 関西地域の発展において、両空港の離陸・着陸の容量拡大・機能強化は不可欠である

と思う。これによる本市のメリットとデメリットは、

A メリットとして、国内外からの訪問者が増え、交流人口の拡大や市内経済の発展に寄与する。また、国内外のさまざまな地域との交流が加速し、子どもたちの社会性や国際性を育むという効果がある。デメリットとして、騒音などによる生活環境への影響が増加すると考えられる。(企画情報部長)

Q 両空港の離陸・着陸の容量拡大・機能強化に対する市長の思いは、

A まずは、安全性の確保を大前提に万全の体制で取り組んでいただき、現在、想定していない事態が生じた場合、改めて速やかに再検討を行うなど、必要な措置を講じるよう要望する。市民の皆さまが安心して暮らせる環境の確保が私の希望であり、考えである。(市長)



政務活動費・議会交際費の公表

政務活動費は、地方議員の資質の向上を図り、地方議会の活性化を図っていくため、地方自治法に規定され、地方議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。本市では、条例により議員1人当たり年額15万円(月額12,500円)を、会派へ年度当初に交付しています。そして、年度末に1年間の収支報告書などを提出することが義務付けられており、その時点で交付された政務活動費に残余がある場合は、市へ返還することになっています。

議会交際費は、市議会の円滑な運営を目的として、議長などが市議会を代表して外部の関係者と良好な関係を築くために、特に必要と認められる経費です。

令和5年度 政務活動費執行状況

(単位：人、円)

会派名	議員数	交付額(A)	執行額(B)	(B)の内訳								返還額(A)-(B)
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	
宙(おおぞら)	5人	750,000	590,126	590,126	0	—	0	0	0	0	0	159,874
「志(こころざし)」	5人	750,000	742,662	432,360	310,302	—	0	0	0	0	0	7,338
うずしお	3人	450,000	395,146	365,146	30,000	—	0	0	0	0	0	54,854
日本共産党	2人	300,000	119,780	0	119,780	—	0	0	0	0	0	180,220
公明党	2人	未申請	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		2,250,000	1,847,714	1,387,632	460,082	—	0	0	0	0	0	402,286

※広報費については、市議会の申し合わせにより使用しないこととしています。

令和5年度 議会交際費執行状況

区分	祝金	弔慰金	見舞金	会費・負担金	接遇費	手土産品代	寸志	その他	合計
件数(件)	0	0	1	25	0	10	2	10	48
支出額(円)	0	0	44,493	257,000	0	55,470	20,000	84,149	461,112

議員研修

地域農業を守る 農業農村整備事業

淡路県民局洲本土改良事務所 角谷和一郎 所長

◆ 2月14日

農業を取り巻く現状はきびしく、平成12年から20年間で農業就業人口が50%減少し、放棄された農地が増えています。担い手の育成に資するための農地の利用集積や、非農用地を含む土地利用の秩序化を図るため、ほ場整備を進めています。



兵庫県全体では整備率が79%、洲本市は52%で、現在4地区でほ場整備が実施されています。ほ場整備を実施すれば、大型機械の使用で稲作労働時間が大幅に短縮、ほ場が区画され作業の効率が向上、担い手への農地集積が進むなど、効果は大きいものがあります。国は、農地中間管理機構関連農地整備事業も推進しています。

令和6年能登半島地震 珠洲市への災害派遣報告

洲本市総務部総務課 森 健吾 課長補佐

◆ 2月21日

今年1月1日に起こった能登半島地震での被災地救援で、珠洲市へ派遣された職員より、その活動内容や被災地の状況などの報告を受けました。



2月1日から6日間のうち主に3日間は、避難所を公用車で巡回し、ニーズ調査など避難所運営の支援活動でした。被災地でのトイレ問題は想像以上であり、循環式や仮設トイレのほか、南あわじ市のトイレカーが避難者や支援者から評判が良く、知名度も高かったとか。避難者と同じような条件下で生活することで、避難所生活の過酷さを改めて認識することができました。

議会サポーター制度を調査

● 2月7日：愛知県岩倉市

議会運営と議会改革の取り組みとして説明を受けた議会サポーター制度は、議会の広聴機能の強化により、市民からの要望や提言、その他の意見などを議会運営に反映する有用な制度です。また、全議員の問題意識の共有と、行政運営への課題提言機能の強化に期待できるものでした。



● 2月8日：岐阜県可児市

議会改革の取り組みとして委員会代表質問制度があり、委員会機能の充実とともに、委員会で調査・議論された内容を、委員会の総意として執行部に政策提案を行うことから、提案の実効性と議論の継続性が期待できる有用な制度として、大変興味深いものでした。

全国から行政視察に来訪

本市では、全国各地の地方自治体の議会から、行政視察を積極的に受け入れています。他の自治体と情報交換ができ、本市の取り組みに対して意見をいただけるなど、行政視察は議会活動の向上に役立っています。



▲竹チップボイラーの見学（名取市）

行政視察の受け入れ状況（令和5年4月～令和6年3月）

月日	議会名	人数(人)	調査内容
R5. 5.17	和歌山県紀の川市	11	議会広報の編集について・意見交換
R5. 5.23	宮城県名取市	4	エネルギーパーク洲本
R5. 7.26	東京都江東区	9	再生可能エネルギーの活用に向けた取り組み
R5. 8. 1	宮城県大崎市	8	エネルギーパーク洲本
R5. 10.17	静岡県伊豆市	9	再生可能エネルギーの活用推進
R5. 10.20	茨城県銚田市	8	議会だより
R5. 10.26	山口県柳井市	9	エネルギーパーク洲本
R5. 11. 7	青森県おいらせ町	9	地域おこし協力隊への行政事務事業内容 地域おこし協力隊の活動内容
R5. 11.13	京都府	14	洲本市における域学連携の取り組み
R5. 12.20	東京都中野区	9	S BRICK（エスブリック）
R6. 1.16	埼玉県深谷市	2	エネルギーパーク洲本
R6. 1.22	宮城県加美町	8	再生可能エネルギーの活用によるまちづくり
R6. 2. 5	埼玉県上尾市	9	エネルギーパーク洲本

※人数には議会事務局の随行者などを含んでいます。

現在設置している3つの特別委員会の活動を紹介

元市職員等の不適切な事務処理等に関する調査

7回の委員会開催 次年度も調査継続

令和5年10月に設置されて以降、特に不適切な事務処理があった①温泉利用券に関する虚偽の公文書を作成した疑惑について②お節料理の管理について③旧東京アンテナショップでの在庫管理について④商品券を使用して購入したパソコン・プリンターについてを調査し、7名の証人尋問と1名の書面尋問、6件の記録提出の要求を行いました。

その中の証言において、元市職員への権限の集中と、直属の上司、部下でさえもほとんど把握できていなかった状況が浮き彫りとなりました。引き続き6年度においても、真相究明と再発防止に向けて調査を行ってまいります。



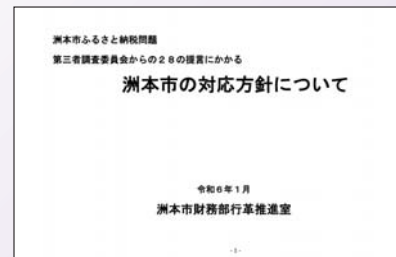
ふるさと納税事務調査

28の政策提言への対応方針を調査

令和5年10月に設置されて以降、6回にわたり委員会を開催。第三者調査委員会からの28の政策提言に対する本市の基本的な考え方、対応方針、現在の取り組み状況について経過を随時聴取し、資料の提出を求めるなど慎重かつ詳細な調査を行いました。

結果、執行部に対し「制度復帰に向けてスピード感をもって調査に臨みたい」「市幹部を含めた職員全体に、コンプライアンス研修を実施し、職員の意識改革を進められたい」など5点の要望を付しました。

今後も引き続き、調査・研究を継続して行い、進捗や実効性について確認してまいります。



広報広聴

高校生の意見を取り入れ全面横書きに

市議会だよりの編集は、「わかりやすく、親しみを感じられる」「議会閉会後の翌月発行にする」「議員で原稿を作成し編集をする」の3点を大切にしています。

今年度は洲本実業高校生徒会と意見交換会を実施し、横書きの方が見やすいという意見もあり、第69号からは、すべての紙面を横書きに編集し左開きにしました。また、広聴活動では、内町・外町地区で議会報告会・懇談会を実施し、空き家問題や中心市街地の活性化などについて意見交換をしました。

今後も、市民の皆さまのご意見やご要望の収集に努めてまいります。



新たに設置 ㈱淡路島第一次産業振興公社の事務処理等に関する調査特別委員会

現在設置されている、元市職員の不適切な事務処理等に関する調査特別委員会での、旧東京アンテナショップにおける在庫管理の調査の中で、淡路島第一次産業振興公社（御食国）に雇用されていた旧東京アンテナショップの元店長は、自身が経営すると思われる会社から、淡路島第一次産業振興公社へ商品の仕入れを行っていたことを確認しました。その中の旧東京アンテナショップにおいては、仕入れ価格が販売価格を上回るものがあることも判明いたしました。

この旧東京アンテナショップは本市からの業務委託であり、また、ふるさと洲本もともとと応援事業の特産品などの提供に関しても本市に関係する事務であり、より深く調査を行うべく、地方自治法第100条の規定により、株式会社淡路島第一次産業振興公社の事務処理等に関する調査特別委員会を設置することが必要であると提案されました。

討 論

反対 木元 寿夫（うずしお）

今ある100条委員会は、昨年9月の特別委員会報告を受け、背中を押され設置。調査権を発動する場合は、行財政上の重大な事件や特殊な政治問題の発生時。新たな100条委員会は必要ない。

反対 久保 哲二（うずしお）

この業者（三セク）の社長は上崎市長である。この問題は統括者の上崎社長に任せ、議会のすべきことは「ふるさと納税問題」の100条委員会に全力で取り組むことである。

反対 生田 進三（無会派）

株式会社の経営は、取締役委任されており、取締役に向うべきである。誤解、調査不足などによって証人を召喚した場合、人権侵害、名誉権の侵害に発展する可能性がある。

賛成 木戸隆一郎（「志」）

設置目的は、市の事務に関連しており問題ない。仕入れ価格が販売価格を上回るなど不透明で、他の重大な問題もある。業務委託の内容や元店長の関わりについて深く調査する必要がある。

賛成 中野 睦子（「志」）

既存の100条委員会で調査中、元店長代表法人と御食国との取引記録があり、1億円近い巨額の取引や、仕入れ値と売り値が逆転しているなど不審な点がある。100条委員会設置は不可欠。

濱野 隆議員に議員辞職勧告決議

濱野 隆議員に対し、次の内容（要旨）で議員辞職勧告決議案が提出され、賛成多数で議決されました。

12月の一般質問で、副市長に対して「根拠不明な発言でその名誉を傷つけ、議会の品位をおとしめた」として陳謝の懲罰が。また監査委員からは「議員の発言が、事実と反する認識をもとに正当な業務を阻害している」と、議会に対する事実確認と対応を求める申し入れ書も出されました。

議会運営委員会が開催され、議員はこれらの発言は事実でなかったことを認め、直接の謝罪と本会議場で訂正と謝罪することを決定しました。

しかしながら、3月定例市議会の発言は謝罪とは言えず、副市長、監査委員、ハラスメント被害にあった職員から抗議書が提出されるに至りました。これまでの一連の経過から、市民の信頼失墜、議会のルールや決定に従おうとしない姿勢は、議員としての資質に欠けているとして、辞職勧告決議提出となりました。

討 論

反対 久保 哲二（うずしお）

本市議会での懲罰委員会やハラスメント審査会は、中立な第三者を入れず、議員のみで行われる。議員が議員を裁く多数派権力の裁量で、まともな判断が出来ていない。

反対 木元 寿夫（うずしお）

数々の提案理由を述べているが、過去の懲罰などの処分はすでに終わっている。再度、同じ事案での提出は考えられない。数の暴力であるといえる。

賛成 小野 章二（「志」）

本会議で事実と異なる発言、個人が特定できるような発言など、議会の品位をおとしめている。都度、懲罰が科されたが反省もなく、繰り返されている。よって、この勧告は良しとすべきである。

賛成 福本 巧（「宙」）

当該議員の議会規則に従わない姿勢や、繰り返される不規則な言動が議会秩序を乱し、影響を受ける方々への配慮や対応状況を踏まえると、議員としての資質が欠如していると言えるので賛成する。

就任のあいさつ

市民の皆さまには、平素より市議会及び議員活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、私たちは3月定例会市議会におきまして、洲本市議会議長並びに副議長の要職を担うことになりました。大変光栄に存じますとともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

現在、人口減少や少子高齢化に加え、ふるさと納税問題に関しては、100条委員会が設置されるなど、市民の皆さまの関心も高く、重大な課題が山積しております。二元代表制の一翼を担う市議会として、市民の負託に応えられますよう、一層研鑽に努め、



議長
福本 巧



副議長
福島 昌幸

より開かれた議会を目指して、市民の皆さまの声に耳を傾け、市民目線での議論を重ねて、市民福祉の向上と市政の進展のために全力を注いでまいりたいと決意を新たにしています。

今後とも、市民の皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

新しい議会構成

議長 福本 巧

副議長 福島 昌幸

監査委員 中野 睦子

常任委員会は、各部局に属する予算や条例などの議案、請願などを審査し、また、その事務に関することを調査します。委員と担当部局は下記のとおりです（◎は委員長 ○は副委員長）。

総務常任委員会	◎柳川 真一 ○近藤 昭文 福本 巧 濱野 隆 清水 茂 木戸隆一郎
	(企画情報部) 秘書、広報、総合戦略、CATV、定住促進、DX推進など (総務部) 庁舎管理、人事、消防、防災、財産管理、由良支所、上灘出張所など (財務部) 財政、行政改革、契約、市税、滞納対策など 五色総合事務所、会計課、選挙管理委員会事務局、議会事務局、監査委員事務局など
教育民生常任委員会	◎小野 章二 ○原田ひとみ 間森 和生 高島久美子 木元 寿夫 福島 昌幸
	(市民生活部) 戸籍などの証明書、年金、ごみ、リサイクル、市民相談、人権など (健康福祉部) 福祉、子育て、介護、国民健康保険、健診、診療所、保育など (教育委員会) 幼稚園、小学校、中学校、給食、公民館、図書館、文化史料館、洲本文化体育館、五色台運動公園、文化財、スポーツなど
産業建設常任委員会	◎先田 正一 ○笹田 守 久保 哲二 中野 睦子 小松 茂 生田 進三
	(産業振興部) 農業、林業、漁業、商工、観光、企業誘致など (都市整備部) 市道、市河川、下水道、市営住宅、都市計画など (農業委員会事務局) 農地の権利移動などの委員会運営
議会運営委員会	◎小松 茂 ○木戸隆一郎 近藤 昭文 柳川 真一 先田 正一 木元 寿夫
	議会の運営、会議規則、委員会条例などを審査し、円滑な議会を円るための委員会です。また、議長の諮問機関としての役割も担っています。
元市職員の不適切な事務処理等に関する調査特別委員会(100条委員会)	◎木戸隆一郎 ○柳川 真一 間森 和生 濱野 隆 中野 睦子 先田 正一
	ふるさと納税問題第三者調査委員会から指摘された元市職員によるふるさと納税事務に関連した不適切な事務処理について、地方自治法第100条の規定に基づき、より深く調査を行っています。
(株)淡路島第一次産業振興公社の事務処理等に関する調査特別委員会(100条委員会)	◎木戸隆一郎 ○柳川 真一 間森 和生 中野 睦子 清水 茂 先田 正一
	元市職員の不適切な事務処理等に関する調査特別委員会の調査過程で確認された(株)淡路島第一次産業振興公社の不自然な仕入れなどの事務処理について、地方自治法第100条の規定に基づき、調査を行っています。
広報広聴特別委員会	◎間森 和生 ○木戸隆一郎 近藤 昭文 久保 哲二 中野 睦子 原田ひとみ
	定例会市議会ごとに発行される市議会だよりの編集と、よりよい紙面づくりのための調査研究と広聴活動として議会報告会・議会懇談会の開催などを行っています。
ふるさと納税事務調査特別委員会	◎小松 茂 ○小野 章二 近藤 昭文 久保 哲二 高島久美子 原田ひとみ
	ふるさと納税事務に係る業務についての調査と制度復帰に向けて、調査・研究を行っています。

小学生の 議場見学

今年の2月に、校外学習の一環として鳥飼小学校の児童の皆さんが議場を見学し、議会の仕組みや議員の仕事を学びました。



▲鳥飼小学校5年生

議会事務局職員から市議会の仕組みについて説明を受け、電子表決システムを使った採決や、議員へ質問を行いました。



採決

- 毎日の宿題をもっと多くする。
 - 授業時間を短くする。
- などの議題について、採決を行いました。

質問

- 議員さんは普段はどんなことをしているの。
 - 会議は何時までやっているの。
- など多数の質問がありました。

6月定例市議会の予定

- 6月6日(木) 常任委員長会
- 6月10日(月) 議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 6月13日(木) 本会議 (第1日)
- 6月20日(木) 本会議 (第2日)
- 6月21日(金) 本会議 (第3日)
- 6月24日(月) 本会議 (第4日)
- 6月25日(火) 常任委員会
- 6月26日(水) 常任委員会
- 6月27日(木) 常任委員会
- 6月28日(金) 予備日
- 7月1日(月) 本会議 (第5日)

※請願の提出を検討されている方は、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

◆2024年1月1日に起こった能登半島地震。多くの尊い命と財産が失われました。防災の原点は、自分の命は自分で守ることだと言われています。一人ひとりの防災対策、日ごろからの備えをよろしくお願いします。◆また、今期定例市議会では役員改選が行われ、新議長のもと、各常任委員会のメンバーの顔ぶれも変わりました。今年度も議会報告会、市民との懇談会や各種団体、高校生との意見交換会を開催し、皆さまのご意見を議会活動に活かしてまいります。◆今後も市議会だよりがより見やすく分かりやすく、市民の皆さまと市議会の架け橋となるように取り組んでまいります。(原田)

表紙写真 募集中!!

市内で撮影された風景、イベントなどの写真で表紙を飾りませんか？詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。 [洲本市議会](#) 🔍 検索



議会だよりへ